

スタッフのひとりごと

「ルイボスティー」

ルイボスティーは、南アフリカでのみ栽培されているお茶です。8 時間ほど発酵させ、赤くなることから、ルイ＝赤い、ボス＝茂み、という名前が付いたそうです。朝夕の温度差が、30 度以上もある過酷な大地にしっかり根を張り、大地のミネラルをたっぷり吸い上げるのです。昔の先住民たちには、「不老長寿のお茶」とも呼ばれ、治療目的として飲まれていたんだそうです。さらに、ノンカフェイン・ノンカロリーなので、妊娠中の人、ダイエットの人にもおすすめです。農薬、化学肥料に頼らず生かされたルイボスティーなら毎日安心して飲めます。今お店で、取扱っておりますし、試飲していただいております。



岡田昌之（まさゆき）
薬剤師、ケアマネジャー



「広島原爆の日」

8/6 に、80回目の原爆忌を迎えた。広島市の平和記念公園には、多くの被爆者や遺族らが訪れ、平和記念式典には過去最多の120か国・地域の大使ら約5万5000人が参列した。祈りに包まれた広島の日だった。テレビやラジオ、ネット等でニュースを見聞きしていろんな立場の方々の声を聴くことができました。今は昔とでは国際秩序は様変わりし、剥き出しの暴力が支配する世界へと変わりつつあり、この平和がいかに脆弱なものであるかを痛感しています。このような世の中だからこそ、核抑止が益々重要だと声高に叫ぶ人達があります。しかし本当にそうなのでしょうか。確かに、戦争をできるだけ防ぐために抑止の概念は必要かもしれません。もし核による抑止が、歴史が証明するようにいつか破られて核戦争になれば、人類も地球も再生不能な惨禍に見舞われます。概念としての国家は守るが、国土も国民も復興不能な結末が世界中におきてしまいます。私たちは未来ある子供たちのためにも絶対に核戦争は阻止しないといけないと思いませんか。

私も広島には何回か足を運んだことがあります。原爆資料館も 2 回入館しました。キヨーレオピンなどのレオピンシリーズはこの広島県に製薬工場があり何回か見学させてもらいました。平和と健康を継続させたいですね。



岡田乃布彦（のぶひこ）
管理薬剤師
研修認定薬剤師
ケアマネジャー



（毎回お読みいただき、また多くのお声をいただきありがとうございます。
今回も、ご感想などお聞かせくださいませ。）お声をいただくと嬉しいです。